

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		介護保険制度趣旨普及事業				②事業番号		4520	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		平成 18 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等		法令	条例	規則	要綱	○ 計画等	その他 法令等の名称		
⑦実施手法		直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード		款	1	項	5	目	1	細目	1
⑨担当部名		健康福祉部		⑩担当課名		長寿社会推進課		会計 介護保険事業特別会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
①主に介護保険被保険者とその家族、関係者、広くは市民全体		①介護保険被保険者		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
介護保険制度に関するパンフレットの作成や市ホームページなどの各種広報媒体による案内。		①印刷費		千円	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
介護保険制度について知り、理解を深める。		①配布数		部	
		①計算式			
		②			
		②計算式			
		③			
		③計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
介護保険制度の周知と利用案内による制度の円滑な運営。		政策(章) 2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち			
		施策大(節) 3 みんなで支えあう福祉のまちをめざします			
		施策中 2 高齢福祉の充実			
		施策小 1 介護サービスの充実			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①		介護保険被保険者	人	17,438	17,572	17,626	17,800	17,800	
対象指標②									R2年度中に制度改定があったため、配布部数が大幅に増えた。
活動指標①		印刷費	千円	0	172	519	984	984	
活動指標②									
活動指標③									
成果指標①		配布数	部	2,000	1,000	10,000	3,500	3,500	
成果指標②									
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05		事業費などの推移における特殊要因などの説明
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	405	386	382	382		H30年度中には大きな制度改正がなかったため、これまでに作成した印刷物で対応した。
		直接事業費	千円	0	386	519	172		
総事業費		千円	405	772	901	554			
財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		
	府支出金		千円	0	0	0	0		
	受益者負担金		千円	0	0	0	0		
	その他特定財源		千円	0	0	0	0		
	一般財源		千円	405	772	901	554		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	介護保険制度の発足。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	高齢化に伴い、介護保険の被保険者及び利用者、利用希望者は年々増えている。今後も増加することが見込まれている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔1〕の評価	A
評価項目			評価及び理由・説明等					
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)			ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	介護保険は市民全体に関係があることがらであり、広く市民に周知する必要がある。				

〔2〕有効性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔2〕の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。			ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	窓口等における説明がスムーズに行われている。				
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)			ア. ある アイ. ない	パンフレットの内容や説明の手法について工夫できる。				
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。			ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	—				

〔3〕効率性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	〔3〕の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)			ア. ある イ. ない	現在の事業が最小限である。				

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	説明手法の向上を心掛け、制度周知に努める。	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞	
ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)
	＜今後の展開方針＞
	a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	
—	
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	
—	